

# 令和3年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立しかたこども園
------	--------------

**1 教育目標** 「心豊かに感じ、自分らしさを発揮し、生き生きと遊ぶ子ども」

**2 基本方針**

○集団生活の中で、一人一人が自分らしさを輝かせ、生き生きと遊べる環境をつくる。  
 ○子ども達の発達や学びと生活の連続性を考慮し、一人一人が自分の思いや考えをもって、主体的に生活できるようにする。

**3 指導目標**

○生活リズムを整え、健康な心と体を育む。 ○人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感を育む。  
 ○身近な自然や環境に親しみ、科学性の芽生えを育む。 ○よく見、よく聴き、よく考えて、自分の思いを表現する力を育む。  
 ○ねばり強く、自らやろうとする意欲や態度を育む。

**評価基準**

A:できている                      B:だいたいできている                      C:あまりできていない                      D:できていない                      E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
生活リズムを整え、健康な心と体を育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康な生活の仕方を知る。</li> <li>○自分から進んであいさつをする。</li> <li>○様々な体を使った遊びを経験し、伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。</li> <li>○安全に生活するための集団生活のルールや約束を知り、守ろうとする。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に過ごすための手洗い、消毒、マスクなどの生活の仕方が身に付いてきている。習慣となるように今後も関わっていきたい。</li> <li>・5歳児は門に立ち、あいさつ運動に取り組んだ。保育教諭も気持ち良いあいさつを心掛けた。あいさつができる園児が増えてきているので、今後も継続していききたい。</li> <li>・伸び伸びと体を動かして遊べるよう、年齢に応じた運動遊びを保育に取り入れ、健康な体力づくりに取り組んだ。生き生きと体を動かして遊ぶ園児の姿が多くなった。</li> </ul>

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・来園時に、子ども達から進んであいさつや自己紹介をしてくれた。あいさつが身に付いてきていると感じた。家庭ではない子もいるが、恥ずかしい気持ちがあるのかもしれない。園と家庭が連携してあいさつができるように関わってほしい。</li> <li>・コロナが流行りだして2年ぐらい経つが、この2年は子ども達の成長に大きく影響しているのではないかと。またマスクをつけることが習慣になっているが、2歳児は無理につけなくても良い年齢ではないかと。</li> </ul>	A

<p>身近な自然や環境に親しみ、科学的の芽生えを育む</p>	<p>○季節の移り変わりや事象に興味や関心をもち、身近な自然を遊びに取り入れて遊ぶ。</p> <p>○自然の中で見つけた生き物に関わる中で、親しみをもったり、命の大切さに気付いたりする。</p> <p>○野菜の栽培や収穫を体験し、様々な食材に興味や関心をもつ。</p>	<p>A</p> <p>・季節の事象や自然物を遊びに取り入れ、試したり工夫したりできるように環境を準備した。自然の不思議さに気付き、興味や関心が広がった。今後も園児の発見や感動に寄り添っていき、自然に触れる機会も大切にしていきたい。</p> <p>・様々な小動物に出会い、触れたり世話をしたりすることで、その面白さや不思議さを感じ、命の大切さにも気付くことができた。</p> <p>・季節の野菜の栽培を年間を通して行い、自分から進んで世話をしたり、収穫の喜びを味わったりすることができた。また食材に興味をもったり、苦手なものも食べようとする姿につながった。</p>	<p>・豊かな自然に恵まれた地域なので、今後も自然活かした活動を、教育・保育に取り入れていってほしい。</p> <p>・先生方が教材のために、ザリガニ釣りをしている姿を見かけた。今はゲームをすることが多い時代だが、乳幼児期に生き物に触れ、命の大切さを肌で感じることは大切である。</p>	<p>A</p>
<p>ねばり強く、自らやろうとする意欲や態度を育む</p>	<p>○くり返し挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。(竹馬・パカポコ・こま・カルタ・パズル等)</p> <p>○自分で目当てをもって、試したり工夫したりしながら取り組む。(色水・泥だんご・シャボン玉等)</p> <p>○互いに教え合ったり、競い合ったりしながら、様々なことに挑戦しようとする。</p>	<p>A</p> <p>・最後まで諦めずに取り組み、成功した喜びや達成感が味わえるように励まし、気持ちに寄り添う関わりに努めた。少し難しいことにも挑戦する機会を重ねやり遂げたことで、ねばり強さや目的に向かう意欲につながった。</p> <p>・友達の頑張っている姿やそれぞれの良さを伝えることで、自身も頑張ろうとする意欲や友達を認める気持ちにつながった。</p>	<p>・失敗してもそれを乗り越える精神力をつけていかなければならない。</p> <p>・友達と競争するという経験も、この時期の子ども達には大切ではないか。</p>	<p>A</p>
<p>人と関わる喜びを感じ、愛情や信頼感を育む</p>	<p>○友達や異年齢児と遊ぶ中で、相手の思いを感じながら遊ぶ。</p> <p>○人と関わる中で、「信頼」「愛情」「尊敬」「憧れ」「思いやり」など様々な感情を味わえるように、保育教諭が意識して関わっていく。</p>	<p>B</p> <p>・感染症対策をしながら、友達と関わって遊ぶ活動を計画したが、ふれあい遊びや異年齢児交流などは十分にできなかった。異年齢児との関わりの中で、互いに学ぶことも多いので、感染対策をしながら工夫して交流をしていきたい。</p> <p>・コロナ禍において、人と関わるのが例年のように十分には行えなかったが、地域の方のご厚意で、できた活動は多くあった。「愛情」「思いやり」「感謝」の気持ちが感じられるように言葉にして伝えた。</p>	<p>・コロナ禍で人と関わるのが少なくなっていることは、仕方がない。園では何ができるか考えて行っているの、良いのではないか。</p>	<p>B</p>
<p>自分の思いを表現する力を育む</p>	<p>○見たこと、感じたことを身体で表現し、互いの思いを伝え合いながら、イメージを共有して遊ぶ。</p> <p>○人の話をしっかりと聞く態度を養う。</p> <p>○自分の考えを言葉で伝えたり、相手の思いに気付いたりする。</p>	<p>B</p> <p>・日々の活動において、自分の思いを言葉や身振りで伝えようとする姿を認め、伝わる喜びが感じられるような関わりに努めた。今後も一人一人の思いを受け止め、安心して自己表現できるように支えていきたい。</p> <p>・表現遊びやお話遊び、日々の話し合いにおいて、友達の良さや思いにも気付くことができるように援助を行った。自分の思いだけではなく、人の話もしっかり聞くことができるように、今後も関わっていききたい。</p>	<p>・例年、生活発表会で子ども達の成長を感じることができた。コロナ禍になって実際に見る機会はなくなっているが、送付されてくるクラスだよりから、子ども達が表現遊びをしながら自分達でお話をつくり上げていることが感じられた。</p> <p>・教えなくても、見て自然に学ぶことがある。その子の良い所を伸ばせたら良い。</p>	<p>A</p>